

地方独立行政法人奈良県立病院機構中期計画

目次

第2期中期計画の策定にあたって	1
シンボルマーク	2
法人の理念	2
法人の決意	3
I. 患者にとって最適な医療の提供	
1. 患者の視点に立った医療サービスの提供	4
2. 地域の医療拠点としての機能の充実	7
3. リハビリテーション機能の充実	14
4. 医療安全の確保・院内感染の防止	15
5. 西和医療センターのあり方の検討	16
II. 地域の医療力向上への貢献	
1. 地域の医療機関との役割分担と連携強化	17
2. 地域の医療機能の向上のための支援	19
3. 災害医療体制の強化	20
4. 県民への医療・健康情報等の提供	21
III. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成	
1. 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成	22
2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成	23
3. 働き方改革の推進	27
IV. 自立した法人経営	
1. 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	29
2. 持続可能な経営基盤の確立	30
3. 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成	33
V. 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	34
VI. 短期借入金の限度額	34
VII. 出資に係る不要財産の処分に関する計画	34
VIII. 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	34
IX. 剰余金の使途	34
X. 料金に関する事項	34
XI. 県の規則で定める業務運営に関する事項	34

第2期中期計画の策定にあたって

奈良県立病院機構（以下、「当機構」）は、平成26（2014）年4月に設立され、奈良県総合医療センター（旧奈良県立奈良病院）、奈良県西和医療センター（旧奈良県立三室病院）、奈良県総合リハビリテーションセンターの3つの医療センターと、看護専門学校（奈良校と三室校を統合）、医療専門職教育研修センターの2つの教育・研修施設で構成されています。当機構設立時には、県が定めた第1期中期目標に沿い、救急医療、周産期医療、専門的ながん医療、小児医療、糖尿病治療、精神医療、災害医療の7領域の充実を軸とした第1期中期計画が策定されました。平成26（2014）年からの4年間は、榊 前理事長のリーダーシップの下、私も、理事・副理事長の任にあたっておりましたが、全職員が目標を達成すべく、それぞれの施設で診療・教育の充実に努めてきたところです。

第1期の前半3年間は、県立体制から地方独立行政法人へ移行した揺籃期とも言える状況であり、3つの医療センターの経営については、毎年、前年より改善していたものの、目標・計画を下回った状態が続き、内心忸怩たる思いがありました。3センターはそれぞれ多くの課題を抱えており、何を優先的に実施するか、どのようにいつまでに解決するのかの行動力に欠けていたと考えています。そのような中、平成29（2017）年2月には奈良県により「奈良県立病院機構 改革プラン」が策定され、後半の2年間でようやく3センターの運営も安定し、平成29（2017）年度には、経常収支において黒字化を達成できました。これは、現場の職員の意識改革が最大の改善要因と言えますが、第1期の最終年度平成30（2018）年5月に、新しい奈良県総合医療センターでの診療を開始できたことも非常に大きかったと考えています。最新の医療機器と設備によって、医療機能は大幅に拡大でき、まさに奈良県総合医療センターは生まれ変わったと言える実績を実現しています。一方で、大規模な施設整備に伴い、多額の長期借入金が生じていますが、これに対しては、県の支援を得つつ、計画的に返済を進めていきたいと考えています。

この度、第1期計画期間の成果・課題を踏まえるとともに、県により示された第2期中期目標に従い、平成31（2019）年度からの5年間を見据えた第2期中期計画を策定しました。3つの医療センターがそれぞれ計画に沿って努力すること、それは何よりも県民から求められる最適な医療を着実に提供することであり、3センターが協同することで経営的にはさらに向上するものと見込んでいます。

さて、これからの超高齢化社会を迎えるに当たり、奈良県内の医療体制の維持・充実には地域連携がさらに重要となります。当機構の3つの医療センターで実践できる医療には限界があります。地域の病院との連携、診療所との連携をさらに充実させること、また、在宅医療や地域包括ケアシステムとも緊密な連携が不可欠と考えています。つまり、従来にも増して多様な地域医療連携を構築する必要がありますので、当機構としても積極的に参画して参りたいと考えております。

平成31（2019）年3月

地方独立行政法人奈良県立病院機構

理事長 上田 裕一

シンボルマーク



患者、県民を表す球を優しく守るように包む2枚の葉が、それぞれ「医の心」と「医の技」を表しています。

奈良の豊かな山々「青垣」をイメージするグリーンをイメージカラーとしています。

法人の理念

**“医の心と技”を最高レベルに磨き、
県民の健康を生涯にわたって支え続けます。**

患者によし

3つの医療センターが持つそれぞれの**機能を最大限発揮し**、
かつ連携することで、高度急性期・急性期から回復期まで、
患者の視点に立った最適な医療を提供できる組織文化を作ります。

地域によし

県民の健康を守るため、地域医療構想の趣旨にのっとり、
地域の医療機関等との連携を深めることで、「病院完結型」から
「地域完結型」を目指す医療提供体制における基幹病院となります。

職員によし

機構の全職員が協力し、**医の心と技を最高レベルに磨くこと**に
努めるとともに、**誇りややりがいを持って働くことができる職場**
環境をつくることで、次代を担う医療人の育成に取り組みます。

※ 次ページ以降において、総合医療センターは「総合」、西和医療センターは「西和」、総合リハビリテーションセンターは「リハ」、看護専門学校は「看専」、医療専門職教育研修センターは「研修セ」、法人本部事務局は「本部」、各病院（総合、西和及びリハ）は「3センター共通」、すべての所属（総合、西和、リハ、看専、研修セ、本部）は「法人全体」と表記します。

I.患者にとって最適な医療の提供

1. 患者の視点に立った医療サービスの提供

中期計画

取組項目

1 高度専門的医療の提供

- 具体的な行動計画**
- ✓ 脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施します
 - ✓ 低侵襲[※]手術・ロボット手術を推進します

評価指標

○高難度（E難度・D難度）手術の実施件数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	4,927件	5,050件	5,100件	5,150件	5,200件	5,250件
西和	2,704件	2,700件	2,700件	2,700件	2,700件	2,700件

○低侵襲、脳神経・循環器領域の先進的医療の導入・実施

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	2,013件	2,300件	2,350件	2,400件	2,450件	2,500件
西和	1,581件	1,640件	1,670件	1,700件	1,720件	1,740件

※低侵襲：

手術・検査などに伴う傷口を小さくし、痛みや負担などをできるだけ少なくする医療。内視鏡やカテーテルなど、身体に対する侵襲度が低い医療機器を用いた診断・治療のこと。

○ロボット手術件数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	78件	100件	100件	105件	105件	105件

取組項目

2 チーム医療の推進

- 具体的な行動計画**
- ✓ 複数主治医制、多職種によるチーム医療を推進します
 - ✓ 看護師外来・助産師外来を充実します

評価指標

○複数主治医制の導入の進捗

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	—					
西和	—	導入準備	導入診療科を順次拡大			
リハ	—					

I.患者にとって最適な医療の提供

1. 患者の視点に立った医療サービスの提供(続)

中期計画

取組項目

2 チーム医療の推進(続)

評価指標

○看護師外来・助産師外来の受診者数(延べ数)

		実績	目標				
			2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合	看護師外来	1,071人	1,050人	1,090人	1,130人	1,140人	1,180人
	助産師外来	1,113人	1,800人	1,900人	2,000人	2,200人	2,400人
西和	看護師外来	375人	430人	450人	450人	450人	450人
リハ	看護師外来	0人	60人	80人	90人	100人	100人

3 医療の質の標準化・透明化

具体的な 行動計画

✓ ISO9001、DPC特定病院群[※]の取得を推進します

評価指標

○ISO9001の進捗

	実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合	—	登録	監査	更新	監査	

○DPC特定病院群の取得

	実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合	—	現状確認・改善	認定	現状確認・改善	再取得	現状確認・改善

※DPC特定病院群：大学病院本院に準じた診療密度と一定の機能を有する病院(引用：厚生労働省資料)

評価指標

具体的な 行動計画

✓ 病院機能評価の活用を推進します

○病院機能評価活用の進捗

	実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
リハ	認定	点検・見直し	中間評価	認定更新の取組	点検・見直し	再認定

I.患者にとって最適な医療の提供

1. 患者の視点に立った医療サービスの提供(続)

中期計画

取組項目

4 医療の質の評価

具体的な 行動計画

- ✓ 診療関連合併症を把握し、要因の分析を行います
- ✓ 中長期の診療成績を把握し、検証を行います

評価指標

○術後合併症報告制度の導入[※]の進捗

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
3センター 共通		試行			全診療科 に導入	
		見直し・導入診療科の拡大				

※術後合併症報告制度の導入：

「JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）術後合併症規準（Clavien-Dindo分類）」に基づく術後合併症報告制度を導入し、想定された合併症であっても全て手術によって生じた有害事象として記録報告する。その報告件数に基づいた術後合併症の発生率を減らしていくことを目標に、導入方法の検討→モデル診療科で試行→見直し・診療科の拡大へと進める。

5 患者及びその家族へのサービスの向上

具体的な 行動計画

- ✓ 多職種による患者支援センターの体制を強化します
- ✓ 待ち時間短縮対策を推進します

評価指標

○患者支援センターの取扱件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	未集計	6,000件	6,000件	6,000件	6,000件	6,000件
西和	5,420件	5,750件	5,750件	5,750件	5,750件	5,750件
リハ	927件	1,040件	1,060件	1,060件	1,060件	1,060件

○診察（検査）の待ち時間

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	—	50分	50分	40分	40分	30分
西和	—	60分	55分	50分	40分	30分
リハ	—	45分	45分	30分	30分	30分

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ①断らない救急医療の充実

中期計画

取組項目

1 救急患者受入体制の充実強化

- 具体的な行動計画**
- ✓ ER体制を充実するとともに、総合診療科を設置します
 - ✓ 救急・ICU医師の交替制勤務を導入します

評価指標

○ER・総合診療科の医師数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	0人	0人	2人	3人	4人	4人
西和	0人	0人	1人	2人	3人	3人

○ICU医師の確保数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	0人	9人	10人	10人	11人	12人

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ②質の高いがん医療の提供

中期計画

取組項目

1 がん診療機能の充実

具体的な 行動計画

- ✓ すべての症例について適切な治療方針を決定します
- ✓ 外来化学療法や最新のがん放射線治療を充実します
- ✓ 乳腺・頭頸部領域の集学的がん治療を充実します

評価指標

○がんの治療計画検討会（カンサーボード）※の開催数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	152件	170件	200件	200件	200件	200件
西和	40件	45件	45件	45件	45件	45件

※がんの治療計画検討会（カンサーボード）：

手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師や、その他の専門医師及び医療スタッフ等が参集し、がん患者の症状、状態及び治療方針等を検討するためのカンファレンス（引用：厚生労働省資料）

○がん相談支援センターにおける相談件数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	1,400件	1,550件	1,600件	1,650件	1,700件	1,750件
西和	—	110件	120件	130件	140件	150件

2 緩和ケアの推進

具体的な 行動計画

- ✓ 緩和ケア入院を推進し、緩和ケア病棟を整備します
- ✓ がん診断時からの緩和ケアチーム介入を推進します
- ✓ アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）※を推進します

評価指標

○緩和ケア外来新規患者数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	—	60人	60人	60人	60人	60人

○緩和ケアチームの対応件数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	310件	350件	350件	350件	350件	350件
西和	—	25件	30件	35件	40件	50件

※アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）：

人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み（引用：厚生労働省資料）

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ③周産期医療の充実

中期計画

取組項目

1 ハイリスク妊婦及び新生児の受入体制の強化

- 具体的な
行動計画
- ✓ 周産期医療を充実します
 - ✓ 分娩・母体搬送対応体制を充実します

評価指標

○ハイリスク妊婦の受入件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	93件	120件	140件	160件	180件	200件

○NICU・GCU受入件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	3,931件	5,200件	5,400件	5,600件	5,800件	6,000件

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ④小児医療の充実

中期計画

取組項目

1 小児救急患者の積極的受入

具体的な 行動計画

✓ 小児救急受入体制を充実します

評価指標

○小児救急看護認定看護師数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	0人	0人	1人	1人	1人	1人
西和	0人	0人	0人	0人	0人	1人

2 発達障害児に対する医療提供体制の充実

具体的な 行動計画

✓ 小児科・精神科専門医を確保します
✓ 感覚統合訓練を充実します

評価指標

○小児科専門医数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ	3人	3人	3人	3人	3人	3人

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ⑤糖尿病医療の充実

中期計画

取組項目

1 糖尿病専門医による治療の推進

具体的な 行動計画

- ✓ エビデンスに基づく糖尿病治療を充実します
- ✓ 糖尿病合併症の予防・治療を充実します

評価指標

○糖尿病専門医数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	2人	2人	3人	3人	3人	3人
西和	0人	0人	0人	1人	1人	1人
リハ	1人	1人	1人	1人	1人	1人

○糖尿病認定資格薬剤師数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	1人	1人	1人	1人	1人	1人
西和	1人	1人	1人	2人	2人	2人
リハ	0人	1人	1人	1人	1人	1人

○糖尿病認定資格看護師数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	0人	0人	1人	1人	1人	1人
西和	0人	1人	1人	1人	1人	1人
リハ	0人	0人	0人	0人	1人	1人

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ⑥精神医療の充実

中期計画

取組項目

1 精神科救急・身体合併症患者に対する医療の充実

具体的な 行動計画

✓ 精神科救急・身体合併症患者の受入体制を整備します

評価指標

○身体合併症患者受入件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	—	65件	70件	75件	80件	100件

I.患者にとって最適な医療の提供

2. 地域の医療拠点としての機能の充実 ⑦感染症医療の充実

中期計画

取組項目

1 感染症医療の充実強化

具体的な 行動計画

- ✓ 2類感染症患者入院体制を強化します
- ✓ HIV陽性患者に対する手術を受入れます

評価指標

○感染症専門医数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	0人	1人	1人	1人	1人	2人
西和	0人	0人	0人	0人	0人	1人

○感染管理認定看護師数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	2人	2人	2人	3人	3人	3人

I.患者にとって最適な医療の提供

3. リハビリテーション機能の充実

中期計画

取組項目

1 急性期リハビリテーション提供体制の充実

具体的な行動計画

- ✓ 心臓、呼吸器、脳血管などの急性期リハビリを充実します

評価指標

○急性期リハビリ実施件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	59,949件	60,000件	60,000件	60,000件	60,000件	60,000件
西和	47,462件	58,000件	61,500件	65,000件	68,500件	69,000件

2 回復期リハビリテーション及び退院後のフォローアップのための外来リハビリテーション提供体制の充実、強化

具体的な行動計画

- ✓ ADL改善支援を強化します
- ✓ 摂食嚥下アプローチを充実します
- ✓ 膀胱・直腸機能障害患者へのアプローチを充実します
- ✓ 回復期病棟退院後のフォローアップとしての外来リハビリを充実します
- ✓ 脊髄損傷患者のフットケアと褥瘡予防ケアを充実します

評価指標

○回復期リハビリテーション病棟の実績指数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ	42.7点	47点	47点	47点	47点	47点

○回復期などのリハビリにかかる療法士一人あたり年間実施件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ	3,581件	4,000件	4,025件	4,050件	4,075件	4,100件

I.患者にとって最適な医療の提供

4. 医療安全の確保・院内感染の防止

中期計画

取組項目

1 医療安全対策の徹底

具体的な 行動計画

- ✓ 3センターにおいて医療安全情報・対策の共有を推進します
- ✓ インシデント・アクシデントレポートによる要因分析を推進します
- ✓ 院内死亡症例検討会の開催を推進します
- ✓ 医療事故報告制度に基づく調査を推進します

評価指標

○インシデント報告の総数[※]

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	1,689件	2,300件	2,400件	2,500件	2,600件	2,700件
西和	855件	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件
リハ	356件	400件	400件	400件	400件	400件

○インシデント報告数に対するレベル3 b以上の医療事故発生率

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	1.2%					
西和	0.4%	3%未満				
リハ	0.3%					

※インシデント報告の総数：
インシデント報告の収集・分析を通じて医療安全の向上を図ることが重要との観点から、積極的な報告を推進する。

2 院内感染防止対策の徹底

具体的な 行動計画

- ✓ 抗菌剤の適正使用を推進します
- ✓ 耐性菌の確認検査体制を確立します

評価指標

○感染管理認定看護師数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合 (再掲)	2人	2人	2人	3人	3人	3人
西和	1人	1人	1人	1人	1人	1人

I.患者にとって最適な医療の提供

5. 西和医療センターのあり方の検討

中期計画

取組項目

1 王寺駅周辺地区への移転を含めた再整備方針の検討

具体的な 行動計画

- ✓ 県と連携した検討委員会を設置します
- ✓ 地域医療構想に基づき医療機能のあり方と再整備方針を決定します

評価指標

○新病院整備に向けた検討の進捗

	実績	目標	
	2017年度	2019年度 ～ 2023年度	
西和	—		

2 地域密着型医療の提供

具体的な 行動計画

- ✓ 急性期から回復期まで切れ目のない医療を提供します
- ✓ 機構内各センター間の機能連携を強化します
- ✓ 訪問診療・看護体制を強化します

評価指標

○地域医療連携講座開催回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
西和	12回	12回	12回	12回	12回	12回

○訪問診療・訪問看護件数

		実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
西和	訪問診療	—	準備	10件	20件	30件	40件
	訪問看護	62件	70件	70件	70件	70件	70件

Ⅱ.地域の医療力向上への貢献

1. 地域の医療機関との役割分担と連携強化

中期計画

取組項目

1 地域の開業医等との連携体制の推進

具体的な 行動計画

- ✓ 病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介を促進します
- ✓ 地域連携クリニカルパスの適用患者を拡大します

評価指標

○地域連携クリニカルパスの適用件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	51件	53件	55件	56件	58件	60件
西和	0件	10件	10件	10件	10件	10件
リハ	77件	50件	50件	50件	50件	50件

2 医療機関や福祉施設との連携強化

具体的な 行動計画

- ✓ 機構内・機構外医療機関との交流研修を充実します
- ✓ 福祉事業と医療の連携を強化します

評価指標

○交流研修実施件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	4件	4件	5件	5件	5件	5件
西和	32件	29件	29件	29件	29件	29件
リハ	3件	5件	5件	5件	5件	5件

○子ども地域支援事業における施設訪問回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ	289回	330回	330回	330回	330回	330回

○障害者総合支援法に基づく医療型短期入所の受入件数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ	—	5件	10件	10件	10件	10件

Ⅱ.地域の医療力向上への貢献

1. 地域の医療機関との役割分担と連携強化(続)

中期計画

取組項目

3 地域包括ケアシステムへの参画

具体的な 行動計画

- ✓ 退院前・退院後訪問指導を充実します
- ✓ 特定行為研修修了看護師による支援[※]を強化します
- ✓ 居宅介護支援事業所との連携を強化します

評価指標

○退院前・退院後訪問指導件数

		実績		目標			
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
西和	退院前	6件	16件	17件	18件	19件	20件
	退院後	62件	60件	70件	80件	90件	100件
リハ	退院前	50件	56件	57件	58件	59件	60件
	退院後	0件	5件	5件	5件	5件	5件

○入院受入前施設訪問件数

		実績		目標			
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ		2件	10件	10件	10件	10件	10件

※特定行為研修修了看護師による支援：

在宅医療においてニーズの高い特定行為区分（例えば「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」や「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」等）に係る特定行為研修を修了した看護師が、訪問看護師に同行し適切な処置やケアについて指導を行う。

Ⅱ.地域の医療力向上への貢献

2. 地域の医療機能の向上のための支援

中期計画

取組項目

1 地域医療従事者の資質向上

具体的な 行動計画

- ✓ 病診連携・病病連携のための学術集会を開催します
- ✓ 地域の医療従事者に教育研修の機会を提供します

評価指標

○地域医療従事者向け知識（講座）・技術（実習）修得研修の開催回数

		実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	知識	40回	44回	46回	47回	48回	50回
	技術	1回	6回	6回	6回	6回	6回
西和	知識	23回	18回	18回	18回	18回	18回
	技術	6回	6回	6回	6回	6回	6回
リハ	知識	8回	8回	8回	8回	8回	8回
	技術	6回	6回	6回	6回	6回	6回

2 地域医療を支える看護師の養成

具体的な 行動計画

- ✓ 県内医療機関への就職を促進します

評価指標

○県内医療機関への就職者数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
看専	68人	72人	72人	72人	73人	73人

Ⅱ.地域の医療力向上への貢献

3. 災害医療体制の強化

中期計画

取組項目

1 災害拠点機能の充実

具体的な 行動計画

✓ DMAT 隊員の養成を推進します

評価指標

○DMAT 要員の配置人数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	24人	26人	27人	28人	29人	30人
西和	9人	12人	13人	14人	15人	15人

○大規模災害を想定した災害訓練の実施回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	1回	2回	2回	3回	3回	3回
西和	1回	1回	1回	1回	1回	1回

2 被災時の院内体制の強化

具体的な 行動計画

✓ 自院被災を想定した訓練を充実します

評価指標

○自院被災を想定した院内防災訓練の実施回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	2回	2回	2回	2回	2回	2回
西和	2回	2回	2回	2回	2回	2回
リハ	1回	2回	2回	2回	2回	2回

Ⅱ.地域の医療力向上への貢献

4. 県民への医療・健康情報等の提供

中期計画

取組項目

1 県民への病院・医療情報等の発信

具体的な 行動計画

- ✓ HP、SNS、病院年報等を活用して経営状況、稼働状況、臨床指標、各病院の医療機能などの公表を推進します
- ✓ 公開講座等による医療・健康情報の提供を推進します

評価指標

○地域住民向け公開講座の開催回数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	2回	3回	3回	3回	3回	3回
西和	5回	3回	3回	3回	3回	3回
リハ	4回	4回	4回	4回	4回	4回

Ⅲ.最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

1. 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成

中期計画

取組項目

1

職員のホスピタリティマインドの実践 医療専門職としてのプロフェッショナリズム教育・研修の強化

具体的な 行動計画

- ✓ ホスピタリティ研修を充実します
- ✓ 職位別研修を充実します
- ✓ カンファレンス等を円滑に進めるためファシリテータの養成[※]を推進します

評価指標

○ホスピタリティ研修の開催回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研修セ	4回	4回	4回	5回	5回	5回

○職位別研修の開催回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研修セ	13回	15回	15回	18回	18回	18回

○ファシリテータの新規養成数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	0人	2人	2人	2人	2人	2人 (10人)
西和	0人	1人	1人	1人	1人	1人 (5人)
リハ	0人	1人	1人	1人	1人	1人 (5人)
看専	0人	2人	2人	2人	2人	2人 (10人)

() 内は第2期中期目標期間中の新規養成数の累計

※ファシリテータの養成：

医療の質を上げていくために、チーム医療や医療安全、看護等の各分野において、カンファレンスや会議の場で、各自の意見や専門性を引き出し、お互いが尊重し合うことが求められる。そこで、関係者が納得できる成果を生み出せるように啓発する人（ファシリテータ）を各所属に養成する。

Ⅲ. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成

中期計画

取組項目

1 職員のスキル・能力向上に向けた教育・研修体制の強化

具体的な 行動計画

- ✓ 卒後教育・生涯教育（継続教育）の一元的支援を推進します
- ✓ 各職種のキャリアラダー[※]の開発とこれに基づく教育計画を整備します

評価指標

○卒後教育の参加人数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研修セ	797人	800人	800人	800人	800人	800人

○キャリアラダー開発・教育の進捗

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研修セ	—	調査・計画作成		試行	見直し	

※キャリアラダー：

それぞれの職務内容や必要なスキルを明確にし、下位職から上位職へ、はしご（ラダー）を昇るように着実にキャリアアップできるようにする仕組み。

2 医療プロフェッショナルの養成

具体的な 行動計画

- ✓ 優れた医師、医療専門職の養成を推進します
- ✓ 認定資格等の取得支援を推進します

評価指標

○専門医数、指導医又は高度な医療技術を有すると認定された専門医数（延べ数）

		実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	専門医	—	212人	214人	216人	218人	220人
	指導医等	—	122人	124人	126人	128人	130人
西和	専門医	68人	63人	64人	65人	66人	67人
	指導医等	31人	37人	38人	38人	39人	39人
リハ	専門医	14人	14人	14人	14人	14人	14人

Ⅲ.最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成(続)

中期計画

取組項目

2 医療プロフェッショナルの養成(続)

評価指標

○認定資格等の取得者数

		実績		目標			
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	認定・専門看護師	20人	23人	24人	25人	26人	27人
	認定・専門薬剤師	33人	40人	42人	44人	46人	48人
	専門放射線技師	22人	32人	35人	38人	41人	44人
	認定臨床検査技士	41人	45人	47人	49人	51人	53人
	臨床工学技士 認定資格	22人	24人	25人	26人	27人	28人
西和	認定・専門看護師	6人	7人	9人	11人	12人	13人
	認定・専門薬剤師	16人	17人	18人	19人	20人	21人
	認定・専門療法士	7人	7人	8人	8人	9人	9人
	専門放射線技師	12人	14人	15人	16人	17人	18人
	認定臨床検査技士	27人	26人	26人	27人	27人	28人
	臨床工学技士 認定資格	12人	15人	16人	17人	18人	19人
リハ	認定・専門看護師	3人	4人	4人	5人	5人	5人
	認定・専門薬剤師	4人	4人	4人	4人	4人	4人
	認定・専門療法士	2人	3人	4人	4人	5人	6人

○認定資格等の取得支援制度の進捗

		実績		目標			
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
本部	看護師のみ対象	その他の医療専門職、事務職等に拡充し運用					

Ⅲ.最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成(続)

中期計画

取組項目

3 職員の臨床研究の支援

具体的な 行動計画

- ✓ 論文・学会発表を活発化します
- ✓ 臨床研究倫理の修得を推進します

評価指標

○臨床研究支援体制整備の進捗

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研修セ	—	調査開始	支援体制 検討	教育研修 体制検討	支援準備	支援開始

4 研修医の教育研修体制の充実

具体的な 行動計画

- ✓ 学生・初期研修医に対するリクルート活動を強化します
- ✓ 卒後臨床研修評価機構の認定取得を推進します

評価指標

○医学部生の病院見学者数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	78人	90人	90人	90人	90人	90人
西和	32人	35人	35人	35人	35人	35人

Ⅲ. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成(続)

中期計画

取組項目

5 専攻医の教育研修体制の充実

具体的な 行動計画

- ✓ 専攻医の育成環境を充実します
- ✓ 新専門医プログラム制度を充実します

評価指標

○専攻医等を対象とした研修への出席率

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研修セ	—	60%	70%	70%	80%	80%

○専門医認定機構の承認プログラム数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	5件	5件	6件	6件	6件	6件
西和	0件	1件	1件	1件	1件	1件

6 看護専門学校における質の高い看護師の養成

具体的な 行動計画

- ✓ 国家試験合格率100%を達成する取組を推進します
- ✓ 教員の教育実践力・看護実践力を向上します
- ✓ 看護学生への3センターでの教育実習を充実します

評価指標

○応募者数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
看専	140人	106人	108人	108人	110人	110人

Ⅲ.最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

3.働き方改革の推進

中期計画

取組項目

1 働きやすい職場づくり

具体的な 行動計画

- ✓ ワークライフバランスを実現します
- ✓ ハラスメント等相談体制を充実します
- ✓ タスクシフティング・タスクシェアリングを推進します

評価指標

○一ヶ月平均の超過勤務時間数（職種別）

		実績		目標			
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	医師	30.7時間	29時間	29時間	29時間	29時間	29時間
	看護師	3.2時間	11時間	11時間	11時間	11時間	11時間
	その他の 医療従事者	11.9時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間
	事務	14.1時間	20時間	20時間	20時間	20時間	20時間
西和	医師	28.9時間	27時間	27時間	26時間	26時間	25時間
	看護師	3.8時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間
	その他の 医療従事者	19.9時間	17時間	17時間	16時間	16時間	15時間
	事務	18.9時間	23時間	23時間	22時間	22時間	21時間
リハ	医師	2.5時間	3時間	3時間	2時間	2時間	2時間
	看護師	10.0時間	8時間	8時間	7時間	7時間	7時間
	その他の 医療従事者	9.0時間	9時間	9時間	9時間	9時間	8時間
	事務	13.0時間	9時間	9時間	9時間	9時間	8時間

○年次有給休暇の取得日数

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
法人全体	5日	7日	8日	9日	10日以上	10日以上

Ⅲ.最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

3.働き方改革の推進(続)

中期計画

取組項目

2 働きがいのある職場づくりの推進

- 具体的な行動計画**
- ✓ 適切な人事評価を実施します
 - ✓ 経営連動型手当等の各種インセンティブを導入・拡充します

評価指標

○人事評価制度の進捗

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
本部	賞与反映	賞与・昇給反映				

3 職場における健康確保対策の推進

- 具体的な行動計画**
- ✓ 定期健康診断の受診を徹底します
 - ✓ メンタルヘルスケアの実施を推進します

評価指標

○職員の健康増進・啓発事業の実施回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
本部	—	2回	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上

IV.自立した法人経営

1. 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立

中期計画

取組項目

1 内部統制体制の充実・強化

具体的な 行動計画

- ✓ 法人理念の浸透・共有を推進します
- ✓ 部長会等での決定事項を職員に徹底します

評価指標

○職員アンケート調査で「法人の理念・中期目標等のとおり行動している」と回答した職員の割合

	実績		目標			
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
法人全体	53.1%	60%	65%	70%	75%	80%

IV. 自立した法人経営

2. 持続可能な経営基盤の確立 ①財務内容の改善

中期計画

取組項目

1 経営基盤強化対策の着実な実施

- 具体的な行動計画
- ✓ 医業収入を増加します
 - ✓ 医業費用を節減します

評価指標

○経常収支比率

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	105.3%	91%	93%	96%	97%	101%
西和	104.3%	101%	100%	101%	101%	100%
リハ	93.7%	100%	100%	100%	100%	101%

○医業収支比率

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	103.3%	90%	92%	95%	96%	100%
西和	104.3%	100%	100%	100%	100%	100%
リハ	93.7%	99%	99%	100%	100%	100%

※ 医業収益に運営費交付金(①政策医療分、②施設・機器の元利償還分)含む

【参考】

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	96.9%	89%	89%	91%	91%	96%
西和	102.9%	99%	99%	99%	99%	99%
リハ	92.7%	99%	99%	99%	99%	100%

※ 医業収益に運営費交付金(①政策医療分)含む

IV. 自立した法人経営

2. 持続可能な経営基盤の確立 ②収益の確保と費用構造改革の徹底

中期計画

取組項目

1 経営指標の分析に基づく改善の実施

具体的な 行動計画

- ✓ 日次・月次で経営指標を分析します
- ✓ 速やかな改善を実施します

評価指標

○病床稼働率

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	93.6%	95.6%	95.6%	95.6%	95.6%	95.6%
西和	86.9%	85.2%	85.7%	86.7%	87.2%	87.2%
リハ	93.4%	95.5%	95.5%	95.5%	95.5%	95.5%

○1日1人あたり入院・外来単価

		実績	目標				
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総合	入院	66,135円	71,744円	73,534円	74,909円	75,612円	75,545円
	外来	15,975円	17,900円	17,900円	17,900円	17,900円	17,900円
西和	入院	63,994円	67,368円	67,466円	67,563円	67,563円	67,563円
	外来	11,150円	11,376円	11,376円	11,376円	11,376円	11,376円
リハ	入院	35,361円	36,851円	37,164円	38,164円	38,164円	38,164円
	外来	8,665円	8,558円	8,558円	8,558円	8,558円	8,558円

IV. 自立した法人経営

2. 持続可能な経営基盤の確立 ②収益の確保と費用構造改革の徹底(続)

中期計画

取組項目

2 業務の効率化・適正化の推進

具体的な 行動計画

- ✓ 職員相互による業務指導を推進します
- ✓ 電子カルテの導入を推進します

評価指標

○業務指導の実施回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
本部	0回	3回	3回	3回	3回	3回

○電子カルテの導入の進捗

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リハ	—	検討	構築	本稼働		

IV. 自立した法人経営

3. 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成

中期計画

取組項目

1 経営情報等の共有と経営参画意識の向上

具体的な 行動計画

✓ ニュースレターを発行し、経営情報等の共有を推進します

評価指標

○ニュースレターの発行回数

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
本部	0回	4回	4回	4回	4回	4回

2 計画的な人材確保と人員配置

具体的な 行動計画

✓ 事務職員のプロパー化により専門性の高い職員を確保・育成します

○委託業務の内製化の進捗

	実績	目標				
	2017年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
3センター 共通	—					

V. 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画
別紙のとおり

VI. 短期借入金の限度額
8,000百万円

VII. 出資に係る不要財産の処分に関する計画
なし

VIII. 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし

IX. 剰余金の使途
決算において剰余金が発生した場合は、診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

X. 料金に関する事項

1. 料金は、次に掲げる額とする。

(1) 平成20年厚生労働省告示第59号（診療報酬の算定方法）第1号及び第2号並びに平成20年厚生労働省告示第93号（厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法）並びに平成18年厚生労働省告示第99号（入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準）の規定により算定した額とする。ただし、労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）の規定による療養の給付に係るものについては平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の115を乗じて得た額とし、自動車損害賠償保障法（昭和30年法律第97号）の規定により損害賠償が請求できる場合の医療に係るものについては、平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の150を乗じて得た額とする。

(2) 前項の規定により算定することができない使用料及び手数料の額は、別に定める額とする。

2. 料金の減免

理事長は、特別の理由があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができる。

XI. 県の規則で定める業務運営に関する事項

1. 施設及び設備に関する計画

施設・設備の内容	予定額	財源
施設、医療機器等整備	総額 約6,236百万円	長期借入金、その他資本収入等

2. 積立金の使途

診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

3. その他法人の業務運営に関し必要な事項

なし

(別紙)

1 予算(平成31(2019)年度~平成35(2023)年度)

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
営業収益	153,457
医業収益	140,968
看護師養成収益	516
運営費交付金	10,707
補助金等	859
その他営業収益	407
営業外収益	1,232
運営費交付金	546
財務収益	0
その他営業外収益	686
資本収入	11,682
運営費交付金	5,446
長期借入金	6,236
その他資本収入	0
計	166,371
支出	
営業費用	149,879
医業費用	147,289
給与費	78,284
材料費	40,938
経費	27,606
研究研修費	461
看護師養成費用	1,244
一般管理費	1,346
営業外費用	1,312
資本支出	18,513
建設改良費	6,236
償還金	12,277
計	169,704

【人件費の見積り】

期間中総額80,112百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

【運営費交付金の算定ルール】

県から交付される運営費交付金は、下記の算定基準に基づき、一定の仮定の下に試算されたものであり、各事業年度の運営費交付金は、県の予算編成過程において、基準を適用する等により計算し、決定される。

①運営

平成30（2018）年度の普通交付税の基準財政需要額算定方法等に準じて算定

②退職手当

承継職員等に係る退職手当のうち県職員期間としての勤務期間相当分

注）退職手当支払い見込みにより交付し、翌々年度の運営費交付金で精算する。

③法人化前の県債元利償還金

法人化前の施設・設備整備にかかる県債の元利償還額の一定割合

④法人化後の県債元利償還金

法人化後の施設・設備整備にかかる長期借入金の元利償還額の一定割合

なお、長期借入金等元利償還金に充当される運営費交付金は、経常費助成のための運営費交付金とする。

2 収支計画（平成31（2019）年度～平成35（2023）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入の部	160,494
営業収益	159,262
医業収益	140,968
看護師養成収益	516
運営費交付金	16,153
補助金等収益	859
資産見返補助金戻入	347
資産見返負債戻入	12
その他営業収益	407
営業外収益	1,232
運営費交付金	546
その他営業外収益	686
臨時利益	0
支出の部	166,141
営業費用	164,775
医業費用	162,031
給与費	78,405
材料費	40,938
経費	27,606
減価償却費	14,621
研究研修費	461
看護師養成費用	1,292
一般管理費	1,452
営業外費用	1,312
臨時損失	54
純利益	△ 5,647

3 資金計画（平成31（2019）年度～平成35（2023）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	173,004
業務活動による収入	154,689
診療業務による収入	140,968
運営費交付金による収入	11,253
補助金等による収入	859
その他の業務活動による収入	1,609
投資活動による収入	5,446
運営費交付金による収入	5,446
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	12,569
長期借入金による収入	6,236
短期借入金による収入	6,333
前期からの繰越金	300
資金支出	173,004
業務活動による支出	151,191
給与費支出	78,284
材料費支出	40,938
その他の業務活動による支出	31,969
投資活動による支出	6,236
固定資産の取得による支出	6,236
財務活動による支出	15,277
移行前地方債償還債務の償還による支出	353
長期借入金債務の償還による支出	11,924
短期借入金の返済による支出	3,000
次期への繰越金	300